

文学部 言語文化学科

—学位授与・教育課程編成の方針—

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【学位授与の前提となる教育理念と目的】

言語文化学科は、言語と文学に関する諸事象・諸問題について、根源的かつ総合的な研究・教育を行うことにより、文化現象全般を視野に入れ、自由な発想と柔軟な思考力を持ち、国際社会で活躍できる人材を育成します。教育の中心に「ことば」を学び、駆使することを置き、これを通して人と文化・社会への深い理解と的確な判断力を育てることを目指します。

【身につけるべき力】

- 言語文化に対する確かな認識を基に、異文化に属する人々と積極的に交流する力
- 正確かつ実践的な言語運用能力を基に、社会に自らの考えを発信する力

【学位授与の要件】

本学部で定めた在学期間内に上記の目的に沿った授業科目を履修し、所定の単位を修得のうえ、卒業論文を提出して審査に合格した学生を、上記の力を身につけたものと認め、「学士（文学）」の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【言語文化学科のカリキュラム構成】

本学科は日本、中国を中心に漢字圏の言語文化を学ぶ日本アジア言語文化コースと、英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏の言語文化を対象とするヨーロッパ・アメリカ言語文化コースから成ります。いずれかのコースを選択して、それぞれの言語文化を深く理解する履修方法が一般的ですが、他の言語文化との対照や交流史を探る比較文化論的視点から学ぶこともできるようにカリキュラム構成が配慮されています。

【言語文化学科の特色ある教育内容と方法】

- 外国語については 1・2 年次に習得した語学力を基礎に、より高度で実践的な運用能力を身につけます。ヨーロッパ・アメリカ言語文化コースではそのための科目として「コミュニケーション科目」の履修を必須としています。
- 日本アジア言語文化コースでは、専門の学修のための基礎学力を身につける科目として「日本ア

シァ言語文化学入門」の履修を推奨しています。

- 「ジェンダー言語文化学プロジェクト」関連科目として、学部共通科目「ジェンダー言語文化学概論」「同演習」、学科科目「ジェンダー言語文化学特殊研究」を開講しています。専門の枠を超えて社会・文化・歴史的な性のあり方（ジェンダー）という観点から、言語文化に対する学際的アプローチを学びます。

【学修成果の評価】

学修成果の評価は、それぞれの開講科目のシラバスに示された成績評価の方法（定期試験、レポート、授業での発表等）に従い、公正かつ厳格に行います。